

アンケート集計表					
設 問		全 体 集 計 表			
		回答(その他の記載内容)		備 考	
1	放射線空間線量独自測定	はい50 いいえ8 その他1	箇所数(1~5000カ所) いいえ: 本宮市、三島町、泉崎村、埴町、鮫川村、小野町、広野町、川内村 その他: 猪苗代町(文科省の情報を掲載)		
2	線量計無料貸出	はい57 いいえ2	両方33、個人線量計のみ4、空間線量計のみ15、どちらか不明5 いいえ 桧枝岐村、古殿町		
3	食材持ち込み検査実施	はい59 いいえ0			
4	児童、生徒へのマスク着用呼びかけ	はい2 いいえ51 その他6	はい: 檜葉町、矢祭町 その他: 学校に任せている、保護者の判断、場合によって、状況によって		
5	子ども避難・保養等補助	はい3 いいえ52 その他4	はい: 福島市、伊達市、川俣町 その他 大王村(NPOプログラム、県補助)、只見町(県補助)、古殿町(県補助)、鏡石町		
6	高線量地域進入注意呼びかけ	はい2 いいえ50 その他7	はい: 会津坂下町(基準 0.23μ Sv/hを上回っている地点)、伊達市(仮置き場) その他 ホットスポットなし、小学校・都市公園 立ち入り禁止看板設置、全域が避難指示区域		
7	7-1 学校給食における放射性物質の独自検査実施	はい53 いいえ4 その他2	いいえ: 富岡町(他市に給食センター委託)、浪江町、三島町(給食制度なし)、柳津町 その他 大熊町(県が実施)、双葉町(H26. 4再開予定)		
検査頻度		毎日-40、週4~5回-2、週3回-1、月10回-1、週1回-6、月1~2回-3			
1回の検査品目数		丸ごと33、1~10品目-13、50品目-1、60~70品目-1			
機器の検出限界値(Bq/kg)		1Bq/kg以下-3、1超~5Bq/kg-3、5超~10Bq/kg-24、10超~20Bq/kg-9、20超~30Bq/kg-3、その他-1			
サンプリング食材の選定基準(複数回答)		全て-8、無作為-2、使用量の多い食材-20、東北等産地-13、福島県以外-2(下郷町、国見町(主に))、なし-2			
7-2	学校給食食材独自基準設定	はい33 いいえ26	はい33 基準値 7.5Bq/kg-1、8Bq/kg-1、10Bq/kg-14、20Bq/kg-10、25Bq/kg-2、30Bq/kg-3、50Bq/kg-2		
8	原子力防災計画策定	事故前から計画あり-6、事故後計画策定-11、計画なし-25、その他-17(地域防災計画等で位置付け-3、作成中-8、計画中-6)			
9	安定ヨウ素剤備蓄	備蓄: 18(事故前から-6、事故後から-12)、備蓄なし-41	配布対象年齢: 40歳未満16、0歳から1、40歳以上の妊婦1、26年度以降は全市民対象(福島市)		
配布方法: 集会所・避難所-4、県マニュアル-2、避難経路上-1、窓口配布-1、柔軟に対応-1、国の指示後-1、検討中-2、その他-2					
市民への周知方法: 防災無線-3、広報・広報誌-4、広報車-2、マスメディア等-1、消防・警察の協力-1、検討中-2 未定-1					
10	その他の取り組み	講演会・学習会、母乳検査、内部被曝測定、積算線量計による妊婦、児童、生徒等の線量測定、積算線量によって児童・生徒の行動プログラムの見直し、河川・井戸水調査、ガンマカメラによる調査・食品モニタリング、空間放射線量メッシュ調査、原子力防災訓練実施、帰還回数制限、一時帰宅時に防護服等配布、学校グラウンドの優先除染・芝生化、			

5・補助内容  
伊達市: 市内に住所を有する幼児、児童、生徒並びに保護者で構成する任意団体へ補助、宿泊体験活動参加費、交通費、保険加入料全額(予算の範囲内)、夏休み、冬休み、春休みごと1団体1回限り、2013年度上記補助予算額490万円  
川俣町: 放射線の影響をより小さくする機会を設けることにより、子ども達の健やかな成長と親子の健康増進を図る。①(個人)2泊まで上限1泊18,000円、交通費上限10,000円を町が補助。(団体)1泊2日コース、2泊3日コースを設定し、町が全額補助。(親子のびのびリフレッシュ事業) ②幼稚園児、保育園児および小学校児童の心身のケア、健康増進を図るため、主に県外施設を利用した日帰りによる校外授業を実施。(かわまたこどもハッピースクール事業)①101,150千円 ②3,7651千円  
福島市: 未就学児童は、その家族も含めて市内温泉地への宿泊費を補助しています。小中学生の児童・生徒は、旅費の補助はありませんが、心身の健康やリフレッシュを図り、併せて本市の復興を担う人材を育成するよう、平成25年夏休み期間に「福島市の子どもたち・夏のリフレッシュ体験事業」を実施しました。一部保護者を含み2,711名が参加し、いわき市・南会津町・岩手県久慈市・北海道夕張市方面にて様々な自然体験活動・交流体験活動を行いました。2013年度補助予算額: 100,000千円